



かけはし

第 12 号

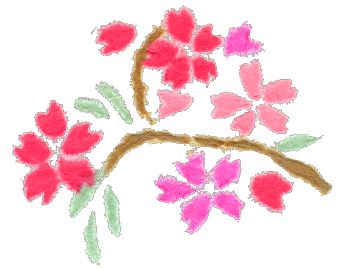
平成29年 3月31日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

家族の絆

校長 川崎 直人

3月17日、智恵文小学校第113回卒業証書授与式がたくさんのご来賓、地域、保護者の皆様の参列を賜り挙げていただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。いつも学校のよきリーダーとして頑張り、活躍してくれた3名の卒業生は堂々と胸を張り、学舎を後に中学校へと巣立っていきました。前途ある3人の卒業生に幸多かれと願わずにはられません。



また、24日の修了式で、今年度の智恵文小学校の教育活動をすべて終えました。30人の子どもたちはこの1年、たくさんの人たちとかわり、見守られながら大きく成長しました。

子どもは、地域の自然、文化、そして人の愛情で健やかに育ちます。けんかをして仲直りすることで、人とのかわり方を学びます。思い通りにならないことがあってこそ、我慢する心も育つのです。こうした子どもの育ちの根底になくならないものは、ご家庭の愛情による安定感、安心感をもたせることです。子どもは愛されているという安心感からさらなる自信や意欲を持ち、自分や周りの人のよさに気付いて大切にしようとしみます。そして、我慢する心も生まれるのです。

家庭は活力源です。本校の子どもたちは、自分に自信を持ち、学校で友達と共に学び、共に競い合うなかで成長しています。それは、ご家庭での深い愛情を受け、「家族の絆」を強めてきたからです。

子どもたちがやがて世に出るときのふるさとは、智恵文であり、智恵文小学校です。そしてその根底は安らぎのふるさとであるご家庭です。智恵文小学校で学んだこと、自然豊かな智

恵文で育ったことの誇りを胸に力強く巣立ってほしいと願っています。最後になりますが、今年度の教育活動にあたり、保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の方々には、様々な場面でのご支援、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

